

# MB,CA2シリーズシリンダ用パッキン交換要領

## 1 シリンダの分解

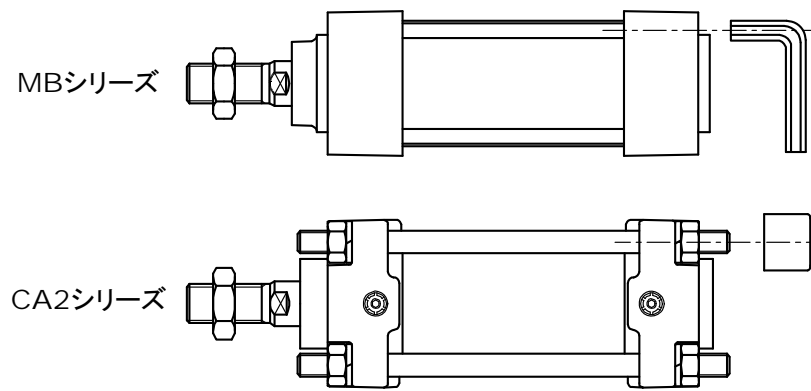


表1.MBシリーズ作業工具

チューブ内径	六角レンチ対辺寸法	
	支持金具を取り外す場合	タイロッドナットを取り外す場合
32,40	4	6
50,63	5	8
80,100	6	10
125	8	12

表2.CA2シリーズ作業工具

チューブ内径	適用ソケット
40,50	13(M8)
63	17(M10)
80,100	19(M12)

- ・シリンダは清浄な場所で分解・組付を行ってください。
- ・作業工具は表1,2を参照してください。

## 2 パッキンの取り外し

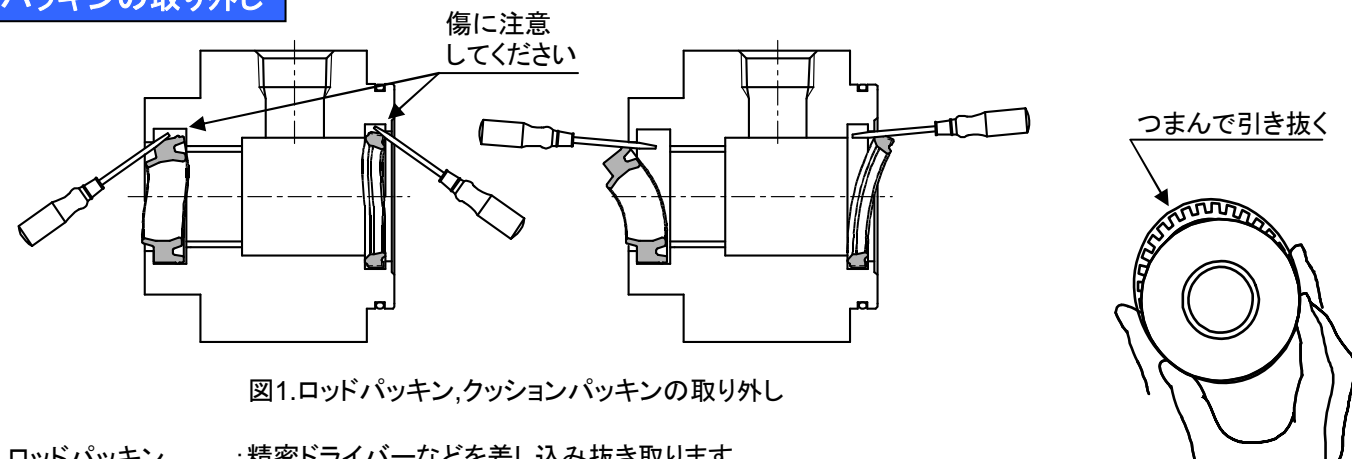


図1.ロッドパッキン,クッションパッキンの取り外し

- 1.ロッドパッキン : 精密ドライバーなどを差し込み抜き取ります。
- クッションパッキン : カバーのパッキン溝に傷をつけないように注意してください。(図1参照)
- 2.ピストンパッキン : 図2のように取り外してください。
- 3.チューブガスケット : 図2と同様の方法で取り外してください。

図2.ピストンパッキンの取り外し

## 3 パッキン類へのグリスの塗布

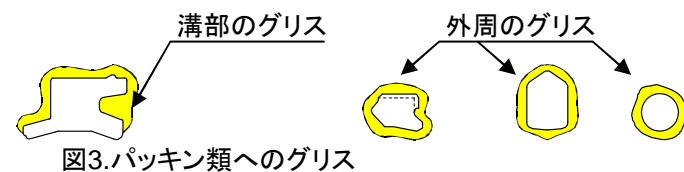


図3.パッキン類へのグリス

- ・各パッキンの外周に薄くグリスを塗布してください。
- ・ロッドパッキンの溝部にはグリスを充填してください。

## 4 パッキンの装着

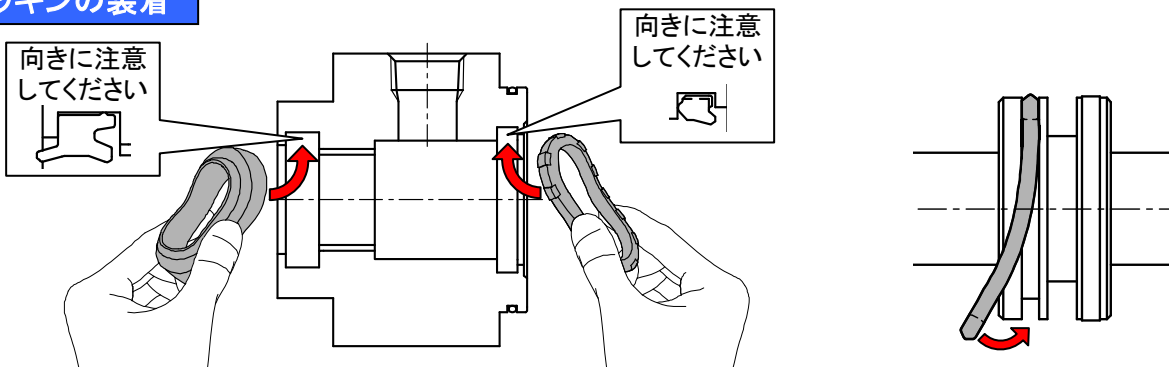


図4.ロッドパッキン,クッションパッキンの装着

図5.ピストンパッキンの装着

- 1.ロッドパッキン : パッキンの方向を間違えないように装着します。
- クッションパッキン : 図4のようにパッキンを指で曲げて装着してください。
- 2.ピストンパッキン : 図5のようにパッキンを引っ張りながら装着してください。

## 5 グリスの塗布

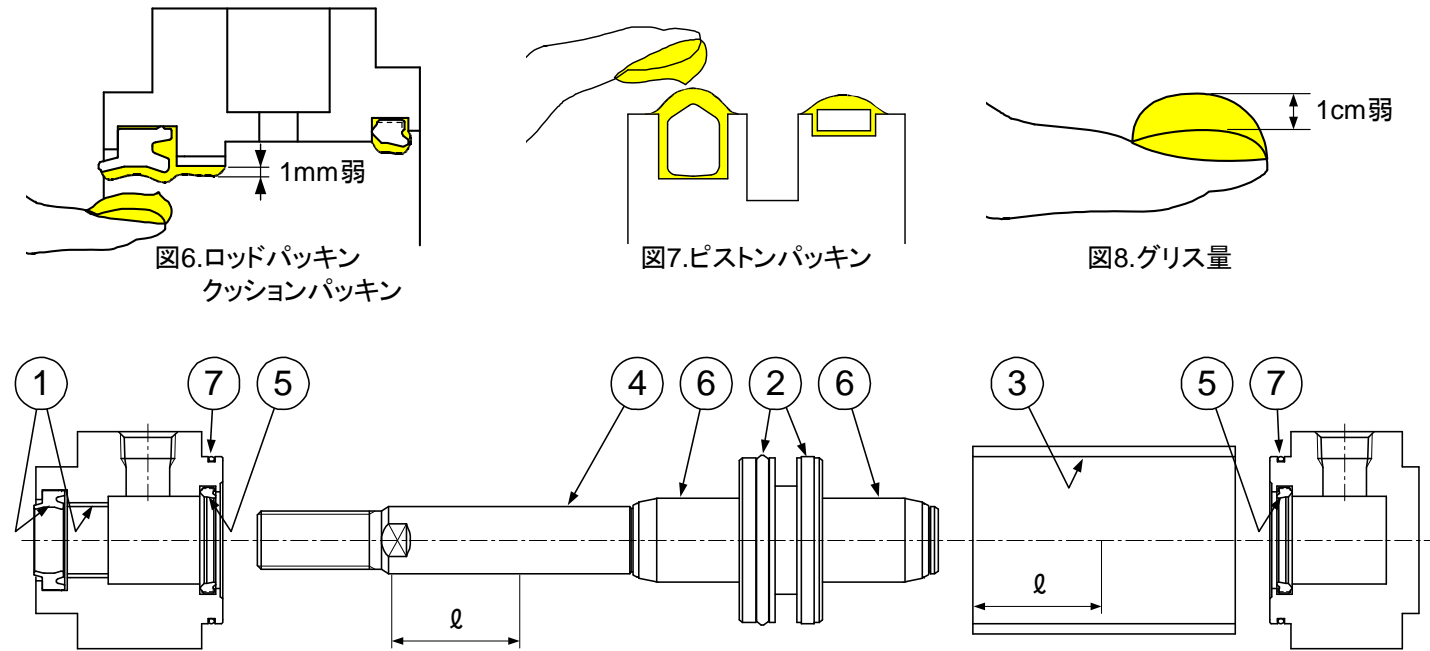


図6.ロッドパッキン  
クッションパッキン

図7.ピストンパッキン

図8.グリス量

図9.グリス塗布位置

$$l = \frac{\text{ストローク}}{2} \text{ または } 100\text{mm以上}$$

表3.グリス塗布量

ストローク	ボアサイズ							塗布位置
	32	40	50	63	80	100	125	
100ストローク時	3~4	3~4	3~5	4~5	6~8	8~10	15~17	①②③④⑤⑥⑦
50ストローク割増	1	1	1	1.5	1.5	2	3	③④

単位:g

- 1.ロッドパッキン : グリスをパッキンとブッシュ内周全体にわたって塗布してください。(図6参照)
- クッションパッキン
- 2.ピストンパッキン : グリスをすり込む要領でパッキン溝内部と外周に塗布してください。(図7参照)
- 3.シリンダ各部品 : 図9の各部品にグリスを塗布してください。100stのシリンダ1本につき表3の量のグリスが必要です。目安としては人差し指ですくった程度が約3gです。(図8参照)

## 6 シリンダの組立

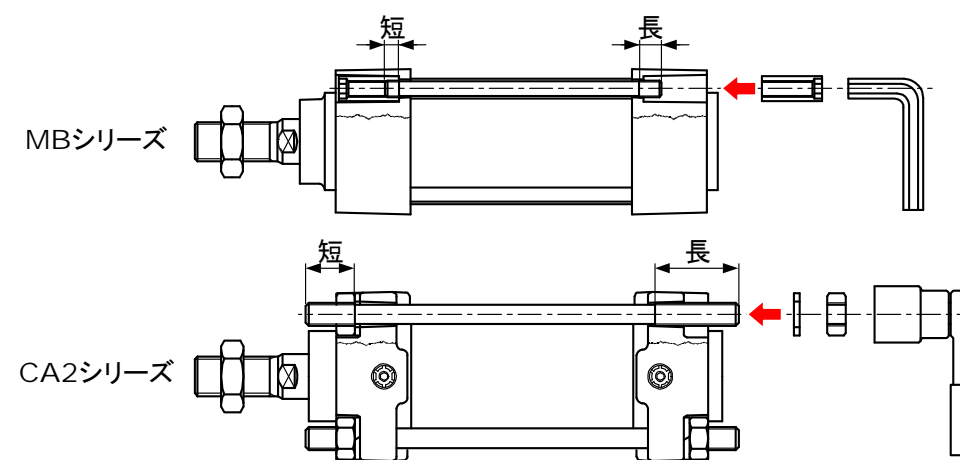


表4.MBシリーズ適正締付トルク

チューブ内径	適正締付トルク [N·m]
32,40	5.1
50,63	11.0
80,100	25.0
125	30.0

表5.CA2シリーズ適正締付トルク

チューブ内径	適正締付トルク [N·m]
40,50	10.8
63	24.5
80,100	38.2

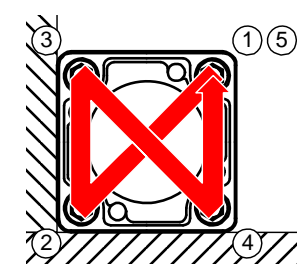


図10.タイロッド締付順序

- ・ゴミ等が付着していないかよく調べ、パッキン等を傷つけないように行ってください。
- ・タイロッドはネジ長さが短い方に手でタイロッドナットを最後までねじ込み、シリンダに組み込んでください。
- ・反対側のカバーよりタイロッドナットを取り付け、タイロッドの張力が均一になるようにタイロッドナットを締め付けてください。
- ・締め付ける際は、表4,5の適正締付トルクにて締め付けるようにしてください。
- ・支持金具の締付も同一です。